

福祉・防災ボランティア活動の推進について

1 防災ボランティア活動について

(1) 現状・課題

① 東日本大震災津波以降の防災ボランティア活動状況について

災害名	ボランティアの延べ人数	備 考
東日本大震災津波	570,875人	R5. 3. 31時点
平成28年台風10号災害	24,470人	最終実績
令和元年台風19号災害	6,493人	〃
令和4年8月3日からの大雨等による災害	383人	〃

※ ボランティアセンター（社会福祉協議会）を通じて活動した人数

② これまでの災害から見てきた課題

- ・社会福祉協議会による災害ボランティアセンター設置運営について、被災経験の少ない社協において、ノウハウやスタッフ不足が課題となった。
- ・NPOや専門ボランティアの受入れ窓口が不明確であったことや行政、社協、NPO等による連携が不十分であったことから、支援内容や地域が重複した一方、支援が行き届かない地域が生じるなど、効果的な支援ができない面があった。
- ・災害ボランティアセンターにおいて、初期段階は、支援ニーズの把握が難しく、ボランティアの派遣ができない状況があった。

(2) 取組の方向性

東日本大震災津波等における課題を踏まえて策定した「岩手県防災ボランティア活動推進指針」において、以下の3つの基本的視点に基づき防災ボランティア活動を推進していくこととしている。

① 平時における関係機関・団体のネットワークの構築

災害時は、防災ボランティア関係機関団体が速やかに連携・協力して活動することが重要であるため、平時から顔の見える関係を構築していく。

② 災害時における連携・協働体制の構築

災害時における多様な主体による支援活動を効率的、円滑に進めるため、岩手中間支援組織と連携した情報共有、活動調整のための体制を整備する。

③ 地域の「受援力」を高める取組の推進

平常時から防災ボランティアの受入れ体制を構築するなど、地域の受援力を高める取組を推進する。

(3) 具体的な取組内容

① 岩手県防災ボランティア支援ネットワーク

行政、社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体等を構成団体として、防災ボランティアの受け入れに関する役割分担や連携等のあり方を確認・協議するため、岩手県防災ボランティア支援ネットワーク連絡会議を設置し、次の取組を行う。

- ・構成団体の活動状況の共有
- ・災害ボランティアに関する研修会の実施
- ・岩手県防災ボランティア活動推進指針の随時改定
- ・市町村域ネットワークの構築促進 等

② 災害ボランティア設置運営研修等支援事業

災害時において、社会福祉協議会による災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営されるよう平時からの準備として、以下の取組を支援する。（実施主体：岩手県社会福祉協議会）

- ・市町村における災害ボランティアセンターの設置運営研修（10か所）
- ・市町村ごとの「市町村域ネットワーク連絡会議」の構築を支援（10か所）
- ・行政・社協・NPO等による三者連携体制構築に向けた研修会の実施（1回）

2 福祉ボランティア活動等について

（1）現状・課題

ボランティアやNPOが継続性を持ちながら活動していくためには、主体的に福祉活動を担う人材の養成が必要となる。

しかしながら、ボランティアの意欲はあるものの、実際の福祉ニーズに対応して活動できる人材が少ないことやボランティア活動にスムーズに参加できる知識や技能の習得が十分でないこと、ボランティアが高齢化しているなどの課題がある。

（2）取組の方向性

子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、多様な福祉ニーズにきめ細かく対応できるボランティアを養成するため、県社会福祉協議会と市町村社会福祉協議会が連携して進める次の取組みを支援する。

- ① 福祉ボランティア活動を希望する人と地域の福祉ボランティアニーズとのマッチングなどをコーディネートできる仕組みづくりや人材の養成を促進
- ② 様々な福祉ボランティア活動を周知しながら、子どもや若者から高齢者まで幅広い年齢層を対象にしたボランティアの養成を促進
- ③ 福祉ボランティア活動に必要な知識・技術の習得のための研修や活動団体のリーダーの育成研修充実を促進
- ④ 高齢者が培った能力や経験を活かし、いつまでも健康で活躍し続けられる社会環境を整えていくため、生涯を通じたボランティア活動の推進

（3）具体的な取組内容

岩手県社会福祉協議会の「ボランティア・市民活動センター」が行っている以下の取組に対して支援する。（実施主体：岩手県社会福祉協議会）

- ・ボランティア活動情報の提供
県社協ホームページにおいて、ボランティア活動及び活動支援の情報などを発信
- ・ボランティア体験inいわての実施
子供から大人までを対象としたボランティア体験プログラムを実施し、ボランティアを養成
- ・ボランティア出前講座
企業や団体向けのボランティアに関する講話やキャップハンディ体験を実施し、地域貢献活動を推進
- ・活動推進を担う人材の育成
ボランティアコーディネーターのスキルアップを図る研修会の実施